

# 新幹線開業と富山のくすり

～ 「かがやき」続ける置き薬に ～

発行：日本置き薬協会 事務局

富山県並びに関係市町村、（一社）富山県薬業連合会など薬業団体で構成する「富山くすりフェア実行委員会」（中井敏郎富山薬連会長）は、来月、3月14日の北陸新幹線長野、金沢間開業に先駆け、3月6～8日の3日間、東京駅丸の内のオアゾ1階〇〇（オオ）広場で、平成26年度「富山くすりフェア」を開催する。

これは富山県が3月2～8日、東京駅丸の内のJPタワーKITTE（キッテ）で開催する観光PRイベント「とやまWeek In東京」にあわせて企画、実施するもの。富山県のブランドの一つとして知られる「富山のくすり」もタイアップし、相乗効果を図るのが狙い。

内容は、柳行李や懸場帳、製薬道具等の展示による「富山のくすり」の歴史をはじめ、県医薬品産業、くすりの知識と正しい使い方、セルフメディケーション、アジア諸国など世界に普及する「配置販売システム」、富山オリジナルブランド医薬品「パナワン」や「エッセン」、団体商標「富山のくすり」のシンボルマークおよびキャラクター「くすりん」、歴史がわかる観光施設等の紹介コーナーを設営。加えて体験コーナーとして生薬の香りや「パッケージデザインクイズ」、県の「とやまWeek In 東京」とのスタンプラリーによるプレゼント等を用意し来場者に楽しんでもらいながら、PRをはかる。イベントスペースは、幅、奥行ともに10メートルの100㎡。

実行委員会が主催し、厚生労働省、富山大学、富山商工会議所等が後援する。

「富山くすりフェア」は、平成2年（1990）の「富山のくすり」300年祭の翌年から全国各地で開催され、平成17年（2005）からは「八尾おわら風の盆」など県外観光客が見込める時期に県内で実施されてきた。今年度は北陸新幹線開業というビッグイベントに相乗りし、従来とは趣向を変えた取り組みとなる。東京駅近隣で開催することによる大きな集客により、内外に広くアピールすることが期待されている。

本件に関するお問合せ先 日本置き薬協会 事務局

〒114-0023 東京都北区滝野川3-56-9

TEL. 03-5974-6227 FAX. 03-3917-9081

日 置 協